

## ご注意ください。JAB認定シンボル、RvA認定マークが変更になりました

JQAは、JAB、RvA、UKASおよびANABより新認定基準ISO/IEC17021への移行が承認されました。また、ISMS規格の新認定基準ISO/IEC27006においても、JAB、JIPDEC

およびUKASから移行が承認されました。これに伴い、下記のとおり認定シンボル、認定マークが変更となります。

### JAB認定シンボル

ISO9001、ISO14001、TL9000、JIS Q 9100、ISO13485、ISO/IEC27001にそれぞれ設定されていた認定シンボルが新しいものに統一されました。旧シンボルを名刺・ホームページなどに使用されている場合は**2011年9月14日までに新シンボルに変更してください**。なお、ISO22000の認定基準はISO/TS22003のまま変更はありませんので、認定マークおよび認定番号は現状のまま変更はありません。



### RvA認定マーク

ISO14001の認定番号がISO9001、ISO22000規格と共通の認定番号「C089」へ統一されたことに伴い、ISO14001の認定マークが変更になりました。ISO9001、ISO22000の認定マークに変更はありません。ISO14001の旧マークをご使用の場合は、**2011年9月14日までに新マークに変更してください**。



### UKAS、ANAB認定マーク

認定マークおよび認定番号に変更はありません。

TL9000においてQuEST ForumのTL9000ロゴが変更になりました。

\*マークの使用について、詳細は「JQAマネジメントシステム登録の公表と登録マーク使用の手引き」をご参照ください。

お問い合わせ先 推進センター業務部業務1課 TEL.03-6212-9560 (担当:元木)

## JQAフォーラム上半期レポート 経営者層を中心に1,300名以上が参加

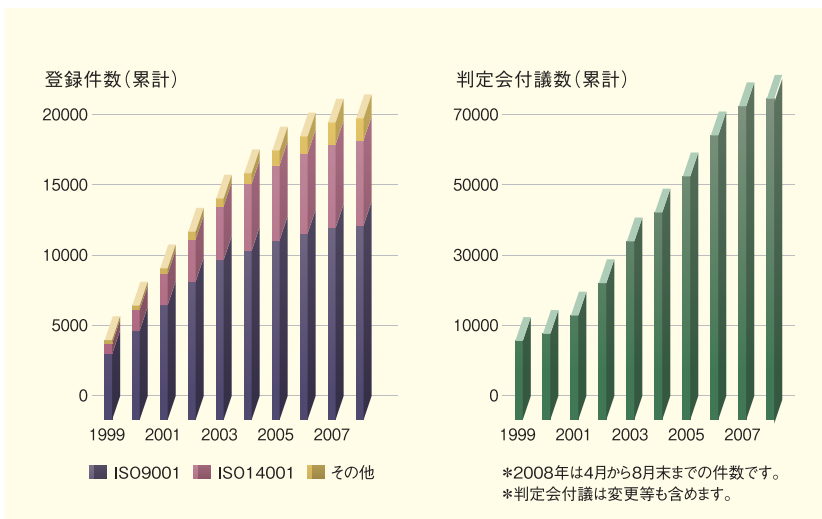


マネジメントシステムの構築や運用に役立つ情報提供の場として、またJQAとお客さまとのコミュニケーションを深める場として開催されているJQAフォーラム。JQAは今年度上半期も10テーマを6会場(東京、名古屋、大阪、北上、仙台、福岡)で開催しました。経営者層を中心とした約1,300名以上の管理責任者の方の参加がありました。最近特に注目を集めているテーマはISO27001やOHSAS18001で、参加者が多く開催回数を追加したほどです。また、登録顧客や参加者の要望にこたえて複数のマネジメントシステムを効率よく運用していくためのIMS(統合マネジメントシステム)審査をテーマとするフォーラムも昨年に引きつづき開催されました。フォーラムは約2時間で参加は無料。新しいお客さまの参加も歓迎とのこと。

## JQA審査判定会が700回を迎えました

審査の現場から提出されてくる審査報告書をもとに登録の可否を最終判断する審査判定会。審査判定会は審査の結果を客観的に判定する立場上、審査部門から独立して組織されています。JQA審査判定会は毎週開催されており、この4月22日に第700回を迎え、年度内にも740回を超える見込みです。1989年にJQAがISOマネジメントシステム審査を開始してから来年で20年。審査判定会への付議案件数は、現在では月平均700件程度で推移し、累計付議数も8万件を突破しました。一方、この20年の間にISOマネジメントシステム認証制度は規格の改訂や新規規格の発行など

を経て産業界や社会に認知され広く浸透するに伴い、認証の信頼性も問われはじめています。JQAでは顧客組織に役立つ審査を実践することと、第三者として公平、公正に審査を行い認証の有効性を社会に伝えることが自らの使命と自認しています。審査判定会は、一件一件の登録の可否を判定する機能のみならず、判定行為を通じて審査チームにJQAの使命の達成を促すという重要な役割も担っています。審査判定会のこのような機能を尊重しながら、JQAは「JQA審査の基本姿勢」を徹底し、社会や産業界から真に必要なとされる審査サービスの提供をめざしています。



第701回審査判定会

審査判定会は以下の判定委員により構成されています。(2008年9月現在)

- 委員長1名
- 副委員長2名
- 常任委員6名
- 特定規格判定委員21名



### 事務局からのごあいさつ

多くの方にご参加いただき、ありがとうございます。認証取得の有無にかかわらず、まずは気軽にご参加いただき、皆さまの事業活動に役立ててい

ただきたいと考えております。今後も皆さまのご期待に添えるべく、よりよいJQAフォーラムの運営に努めてまいります。JQAフォーラム事務局(担当:今井、佐藤)

### 参加者の声

- 認証取得について、今やるべきこと・抜けていること・進め方などを確認する意味でも期待する内容通りであった。(サービス業・愛知県)
- 規格を読むだけでは頭に入りにくいことがまとめてありよかった。(通信機器製造業・千葉県)
- ISOの本質にふれる内容であり、ISOの形骸化防止にとっても役立つ内容だった。(情報システム・宮城県)
- 内部監査の重要性を再認識した。(サービス業・福岡県)

2008年度下半期のJQAフォーラムのテーマとスケジュールは、表4(裏表紙)でご確認ください。